

総合問題（後期 日程入試）の出題意図と解答例

I. 出題意図

一般入試学生募集要項記載のアドミッションポリシーにおいて、本課程の選抜方針は「緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力を持ち、同時に、美や造形に関心を持ち、行動力と協調性があり、自らも表現することに熱意のある人を求めます。」であり、求める能力・適性を「論理的思考能力、美しいものに対する感受性、人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力、新しい可能性に向けての創造力、チャレンジ精神と行動力、コミュニケーション能力と協調性」としている。また、個別学力検査の「総合問題」は、「提示されたデザイン・建築・テクノロジーに関する課題に対して、創造力、構成力、描画力およびそれらの総合力、並びに自分の考えをまとめる能力を評価します。」とある。これらのアドミッションポリシーに従い、この総合問題では、本課程において求められる「文章やデータを読み解く」能力を問うとして、社会活動と切り離せない人・物の流れについて理解し、自分の考えをまとめて表現する問題とした。この問題は、「人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力、論理的思考能力と表現力、創造力」を問う事ができると考えた。具体的には、以下のとおりである。

II. 各問の出題意図と解答または解答例

〔問題 I〕では、「文章読解能力」や「論理的思考能力」を検査するため、「ベルギー移民」に関する文章から、文章を理解する能力と日頃からの社会への関心を測る問題とした。

問 1 は、文章の内容を的確に理解し、図として表現する能力を問う設問である。解答では、①地理的情報、②言語、③労働と人の移動、④パ=ド=カレ県、⑤石炭鉱脈の情報を的確に記していること、を評価した。標準的な解答例が示せない試験問題であるため解答例は示していない。

問 2 は、文章の内容から、14 歳以下で移動を経験した者が比較的多かった理由を推測する設問である。解答では、①帰化は家族単位でなされるのが通例であったこと、②労働者を呼び込むために家族用の住宅を用意しており、妻や子供を帯同しての移動が容易であったこと、を理由として挙げていることを評価した。

問3は、文章の内容を表で表現する能力を問う設問である。解答は、数値が一致していること、表として必要な情報が適切にまとめられていること、を評価した。また、表のタイトルを記していることも評価した。解答の一例を示す。

表2 ランス市婚姻記録簿にみる配偶者の国籍

妻	夫	
	フランス人	ベルギー人
フランス人	367	22
ベルギー人	17	17

問4は、文章からの確な理由を簡潔に示すことができる能力を問う設問である。解答は、①夫の不在、②収入の有無、に關係する内容を評価した。

問5は、「なんら矛盾がなかった」と言える背景について、簡潔に説明する能力を問う設問である。解答では、①仲間意識、②複合的なアイデンティティ、③文化的な隔たりがなかったこと、について簡潔にまとめられていることを評価した。

問6は、社会に対する意識、自分の考えを人に伝える能力を問う設問である。解答では、取り上げた社会問題の事例の適格さ、その社会問題に対する自分の考えを理論的にまとめ、的確に伝えること、を評価した。一義的または標準的な解答例が示せない試験問題であるため解答例は示していない。

〔問題Ⅱ〕では、「論理的思考能力と表現力」を検査することを意図し、2019年から2021年に至る「データ通信量」「人の移動」「飲食店の売り上げ」の推移グラフに基づき、データ分析、データから読み取ることができる社会の動向について理解し、その内容を自らの言葉で表現し、図解説明できる能力を問う問題である。

問1では、グラフの動向を理解できる能力をはかることを意図し、「データ通信量の推移」のグラフを読み取る問題とした。解答では、アップロード、ダウンロードの変動に着目し、データの変化を適切に説明できていることを評価した。一義的な解答例が示せない試験問題であるため解答例は示していない。

問2では、グラフの数値の意味を理解する能力をはかることを意図し、このグラフには含まれないデータを推測する問題とした。解答は2月：29%、3月：39%であり、0.29、0.39も正解とした。

問3では、グラフから社会動向を読み取る能力をはかることを意図し、「飲食店の売り上げ」のグラフから社会の状況を予測する問題とした。解答では、コロナ禍での飲食店の動向について、飲食種別ごとにその変化が、矛盾なく論理的に説明されていることを評価した。一義的又は解答例が示せない試験問題であるため解答例は示していない。

問4では、「データ通信量」「人の移動」「飲食店の売り上げ」のグラフから、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が、生活や経済活動に与える影響を抽出し、論理的に説明する能力と、社会動向への関心を問う設問である。解答では、それぞれのグラフの推移と社会で生じている事象を対応させて説明していること、グラフからの情報に加えて、自身の経験から予測できる事象にも論理的に説明できていることを評価した。一義的又は標準的な解答例が示せない試験問題であるため解答例は示していない。

〔問題Ⅲ〕では、「社会問題への意識」と「バランスのとれた学力」を検査するため、「CO₂ emissions」に関する文章とグラフから、理解する能力と日頃からの社会への関心を測る問題とした。

問1は、「バランスのとれた学力」を検査するため、英語の知識を問うた。解答例は次の通りである。

世界のCO₂排出量は、2020年に5.8%、約2Gt CO₂減少しました。これは過去最大の減少幅であり、世界金融危機後の2009年の減少幅の約5倍にあたります。2020年にエネルギー需要よりもCO₂排出量が減少したのは、再生可能エネルギーが増加する一方で、パンデミックの影響で石油や石炭の需要が他のエネルギー源に比べて打撃を受けたことによるものです。2020年には減少したものの、世界のエネルギー関連のCO₂排出量は31.5Gtに留まり、その結果、2020年のCO₂の大気中の年間平均濃度は412.5ppmと過去最高となり、産業革命が始まったときよりも約50%高くなりました。

問2は、「社会への関心と表現力」を検査するため、「エネルギー消費」に関する文章およびグラフを参考に、エネルギー問題に関する考えをまとめる問題である。論理的展開、文章およびグラフの理解力を評価している。一義的又は標準的な解答例が示せない試験問題であるため解答例は示していない。

Ⅲ. 出典

1. 平野奈津恵「ベルギー移民と移動の理論 十九世紀北フランス炭鉱都市における帰化を手がかりに」、北村暁夫、田中ひかる編、『近代ヨーロッパと人の移動 植民地・労働・家族・強制』、株式会社 山川出版社（2020）
2. 総務省 情報通信統計データベース「我が国のインターネットにおけるトラヒックの

集計・試算」 <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/field/data/gt010108.xlsx>
(2022. 3. 24参照)

3. 東海旅客鉄道株式会社「輸送量の推移（対前年比）：2019年度」
https://company.jr-central.co.jp/ir/passenger-volume/_pdf/000039526.pdf
東海旅客鉄道株式会社「輸送量の推移（対前年比）：2020年度」
https://company.jr-central.co.jp/ir/passenger-volume/_pdf/000040326.pdf
(2022. 3. 24参照)
4. 一般社団法人日本フードサービス協会「日本フードサービス協会加盟会員社による
外食産業市場動向調査 2021(令和3)年1月度 結果報告」
<http://www.jfnet.or.jp/files/getujidata-2021-01.pdf>
一般社団法人日本フードサービス協会「日本フードサービス協会加盟会員社による
外食産業市場動向調査 2021(令和3)年7月度 結果報告」
<http://www.jfnet.or.jp/files/getujidata-2021-07.pdf>
(2022. 3. 24参照)
5. Global Energy Review 2021 IEA Publications
[https://iea.blob.core.windows.net/assets/d0031107-401d-4a2f-a48b-
9eed19457335/GlobalEnergyReview2021.pdf](https://iea.blob.core.windows.net/assets/d0031107-401d-4a2f-a48b-9eed19457335/GlobalEnergyReview2021.pdf) pp. 10～pp. 11 (両ページの一部)
(2022. 3. 24参照)